

切磋琢磨

能登香島中学校

学校だより 第1号

令和5年4月14日



〒926-0178 七尾市石崎町香島1丁目96番地 TEL:0767(62)2837 FAX:0767(62)4707
HP:http://www.city.nanao.ishikawa.jp/notokashimatyu

令和5年度

校訓「切磋琢磨」のもと、3つのキーワードを大切にして

校舎内に久しぶりに生徒の元気な声が響き渡り、学校としてあたり前の日常が戻ってきました。

いよいよ令和5年度が始まりました。これまでとは異なり、感染症対策は緩和されましたが、生徒の安心安全を第一に考えながら生徒一人一人が成長できるよう、教育活動を展開していきます。保護者の皆様にはご理解・ご協力をお願いいたします。

本校の校訓「切磋琢磨」には、「人と関わり合って、お互いに高まり合う、成長し合う」という意味があります。校訓のもと、今年度も自分自身を高める3つのキーワードを生徒と共有し、取り組んでいきます。

- ①「自己指導能力」・・・その時、その場で、どのような行動が適切か、自分で考えて、決めて行動する力
- ②「主体性」・・・やらされるのではなく、自分で目標を掲げ、自ら進んで粘り強く取り組む力
- ③「共感的人間関係力」・・・人を思いやり、相手のことを理解しようと意識して人間関係を築く力

校訓のもと、この3つの力の育成を通して、将来に通じる「自律した力」を育てていきたいと考えています。

<能登香島中のあたり前>

中学校を卒業後は高校進学だけでなく、社会にでて働くことも可能です。将来、社会で様々な人と関わり、生活していくためにはいろいろな力が必要です。本校では、人としての基本的な姿を考え、次の3点を「能登香島中のあたり前」として行動目標に掲げています。ぜひとも、ご家庭でも人生、そして社会の先輩として保護者の方からお子さんにお話いただければ幸いです。

「時を守り 場を清め 礼を正す」 これは、哲学者の森信三氏の言葉

- ①時を守り・・・2分前着席・予鈴着席 8時10分の着席
- ②場を清める・・・汚れている所はないか、15分間、自分で積極的に掃除
- ③礼を正す・・・地域の方・来校者・先生へ

「相手に聞こえる声で、自分からの先あいさつ」

おはようございます こんにちは さようなら
ありがとうございます

【令和5年度学年編制】

	担任	級外
1年A組	鷹合 敬代	羽土 純
B組	多知雄太郎	湊口 博
2年A組	常陸 泰子	池田 道生
B組	山根 進悟	
3年A組	寺岡 孝典	清水みはる
B組	永谷 雅俊	
すみれ	山本久美子	
コスモス	東間 郁子	

校長 坪野 昭
教頭 大橋 武史

【令和5年度部活動顧問】

	顧問	副顧問
野球	羽土 純	
男子バスケットボール	永谷 雅俊	
女子バスケットボール	湊口 博	
男子ソフトテニス	池田 道生	
女子ソフトテニス	多知雄太郎	清水みはる
女子バレーボール	寺岡 孝典	
男子バドミントン	山根 進悟	
女子バドミントン	鷹合 敬代	
吹奏楽	常陸 泰子	東間 郁子
文化芸術	山本久美子	

オアシスライン

～親と子の

なんでも電話相談室～

TEL 0767-52-0783

受付時間：13:00～16:00

(月曜～金曜)

相談内容：悩んでいること、困っていること

*匿名でのお電話で構いません。
秘密は守ります。

～オアシスライン担当～

61名の生徒を迎えての入学式

4月7日（金）に61名の新入生を迎え、入学式を行いました。在校生は出席しませんでした。新しい制服のもと、新入生呼名では一人一人「ハイ」という返事が聞かれ、中学生になったという思いを感じ取ることができました。そして、新入生宣誓では、宮崎 羽愉さんが「友達を大切にし、相手を思いやり、いじめのない学年にしたい」と、力強く、誓いの言葉を述べてくれました。

中学校は小学校の時よりも生徒数が多く、また、教科によって担当の先生が異なるなど、戸惑うことがあると思います。しかし、たくさんの友達をつくったり、いろいろなことに挑戦し、自分の可能性を広げたりすることができます。中学校3年間は体も心も大きく変化していきます。お子さんの成長に向けて、ご家庭でのご支援をお願いいたします。

令和5年度学校教育目標

「自己指導能力を身に付け、自ら進んで取り組む生徒の育成」

～その時、その場で、どのような行動が適切か、自分で考えて、決めて、実行する力～

【めざす学校づくり】

校訓「切磋琢磨」のもと「地域に自慢できる学校」「地域が自慢できる学校」

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた教育活動を通して、生徒が成長できる学校
- 仲間を大切にし、認め合い高まり合う心や優しさ、思いやりの心が満ちあふれる学校
- 安全や安心が保障され、保護者や地域から信頼される学校
- 効果的な教育活動のために、教職員の働き方改革を推進できる学校

【めざす生徒の姿】

- 学びを生かし、問題解決できる生徒
- 目標の実現に向けて、たくましく、粘り強く取り組む生徒
- 互いに認め合い、高め合うことができる生徒
- 自己の体に関心を持ち、健康管理ができる生徒

【キーワード】

「自己指導能力」

「主体性」

「共感的人間関係力」

昨年度の学校評価で見られた課題について、今年度、改善に向けて教育活動を展開していきます。

(1) 学力の向上

本校の課題は「自分の考えを理由・根拠を交えて説明する力」が不十分ということです。「なぜ学ぶのか」の意義のもと、授業では「なぜそう考えたのか」の発問を投げかけるなどし、考えを表現する場を設定していきます。また、今年度は2年生と3年生の英語で少人数授業を展開し、こまやかな指導を工夫していきます。

(2) 望ましい集団・人間関係づくり

学校には様々な個性・特性を持った生徒がいます。例えば、「自分と異なる・自分と合わない」などの理由から、他者の悪口を言ったりする場面があります。学校では相手の立場を考え、協力し合って生活することの大切さを学級目標と関連付けながら生徒に考えさせていきます。

(3) 地域との連携

七尾市におけるふるさと教育の推進のもと、学校では総合的な学習の時間を中心に地域の特色や地域の課題などについて、地域の方々の協力を得ながら調査活動を行っていきます。そして、地域を大切にする心の育成へとつなげていきます。

「かいや」ってどういう意味？ ～「石崎地区の方言」をいただきました！～

「かいや」とは石崎地区の方言で「とっても・たいへん」という意味だそうです。先般、石崎地区まちづくり協議会の大松博一会長、野崎長和事務局長から冊子「石崎地区の方言」を50冊いただきました。学校では図書室に置くとともに、総合的な学習の時間に活用していきます。